

11 教育·文化

基本情報



【年齢】
44歳
【出身地】
北海道北広島市
【転出元】
北海道北広島市
【前職】
北海道文化財団、
ピアノ講師など
【活動時期】
R4.5～

協力隊に応募したきっかけ

音楽（ピアノ）で情操教育（こどもたちの心を豊かにする）指導者を募集していることを恩師から聞き、是非、活動したいと思った。
地域おこし協力隊として、かなりレアな任務だと思う。

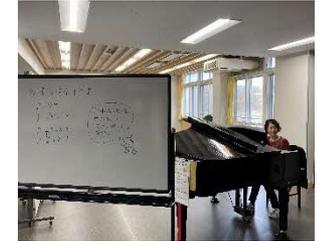
今後の抱負・任期後の目標

来年度3年目を迎えるにあたり、着任1年目から始まったこの新しいプロジェクト「情操教育」を軌道に乗せたい。北海道白糠町のこどもたちが豊かな心を育むことが出来るよう、継続するもの、新規に立ち上げるものを精査し、力を尽くしたい。
また次の担い手のために、任務PR活動に力を入れたい。

活動内容

●朝のBGM

朝、ピアノのBGMの中、こどもたちが教室へ。繰り返し、生活の中で「クラシック音楽に触れることで、心に響き、心が動く」そんな豊かな情操を育む一助となれるよう活動を展開中。日々の積み重ねを大切に。



●昼休みのミニコンサート

町内3校（全校）で昼休みにミニコンサートを実施。先生方や、児童・生徒さんに演奏していただく機会もあり。児童・生徒、先生側の意外な？（演奏する）一面を知ることが出来、盛り上がっている。町内の演奏人材の発掘！？R5.は町内で芸術鑑賞教室を実施。



●音楽の授業サポート

町内3校の音楽の授業のサポートをしている。歌の伴奏や器楽の指導、鑑賞の深堀りなど。担任や音楽教員と共に、充実した授業となるよう打ち合わせを行い、学校と地域おこし協力隊の関係づくりをし、こどもたちの豊かな心のために協力関係がある。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人） yokoklavier5411@gmail.com
（電話番号（個人） 090-8707-3409

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Amblo 白糠町（地域おこし協力隊）日記～ピアニスト山田陽子～

基本情報



【年 齢】
23歳
【出身地】
岩手県胆沢郡金ケ崎町
【転出元】
宮城県仙台市
【前 職】
大学生
【活動時期】
R5.4～（1年目）

協力隊に応募したきっかけ

高校生の教育について、自身の経験に基づいた理想像があり、実現方法を探っていた。そんな中同級生が協力隊として活動し始め、着任当初からよく手伝っていた。協力隊に対する地元の方の理解が進み、私も協力隊としてなら学校外の立場から高校生に携われると考え応募した。

今後の抱負・任期後の目標

全ての高校生が夢に挑戦することができる町を目指す。着任中の目標は地域のイベントや魅力的な大人と高校生のマッチングを行うこと。高校生にとって金ケ崎がアイデンティティの一つとなるように、原体験を提供する。卒業後は学力向上を目的とした塾と教え合いのできる自習室の経営を目指す。

活動内容

● 中学生向け放課後自習室

中学生が放課後に自習するために学びの空間を作る。現在、町内施設を間借りして試験的に実施中。中高生の認知が増えてきており、利用者も増えてきた。各机にホワイトボードを設置するなどして、教え合いが活性化するように働きかけている。



● 金ケ崎高校魅力化コーディネーター

主に「総合的な探究の時間」のサポートを行っている。目的の設定や具体的な内容への助言をしている。また、高校生のアクションで必要な情報を町内から集め、提案している。



● 町内のイベントと高校生のマッチング

課外活動へのサポートとして、町内のボランティア募集情報やイベント告知を行っている。地域の方へ向けて高校生の活動を周知し、関心を持ってもらうきっかけにしていきたい。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】金ケ崎町中央生涯教育センター
(メールアドレス) chuou38@town.kanegasaki.iwate.jp
(電話番号) 0197-44-3123

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(Instagram) @ryusei.arisumi



基本情報



【年齢】
36歳
【出身地】
兵庫県宝塚市
【転出元】
東京都江戸川区
【前職】
(独)国際協力機構
【活動時期】
R4.4~R7.3

協力隊に応募したきっかけ

これまで、国際協力の現場に身を置き、海外の問題に取り組んできたが、コロナ以降、国内の特に地方社会が抱える問題に関心が深まったことがきっかけ。登山が趣味で、何度も訪れていた長野県への憧れもあり、協力隊の制度を活用して地方移住を決意。

今後の抱負・任期後の目標

人や環境にやさしい繊維素材が見直される中で、日本のシルクの良さを多くの人に広められるよう、地域内に岡谷シルクのファンを作っていきたい。任期後は、伝統産業を通じて地方経済が豊かになるような活動に従事したい。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】

メール（職場）：watanabe.yoko@city.okaya.lg.jp
電話番号（職場）：0266-23-3489

【活動の様子を発信しているSNS】（Instagram）

（Facebook）



活動内容（一例）

●養蚕振興

地域コミュニティと養蚕を行い、地域における養蚕振興。養蚕に必要な技術を普及するため、桑園管理のセミナー開催等。



●PR・情報発信

SNSを活用し、地域ブランド「岡谷シルク」に関する活動を発信。岡谷シルクの紹介冊子制作や、地域メディアに出演等。



●シルク文化の教育普及

外国人留学生（JICA研修員）へ岡谷シルクの取り組み紹介や、国産シルクの普及についてWSの開催等。



●染織に関する研修活動

市内の染織工房にて、染織に関する基本的な知識や技術を学び、岡谷シルクの製品化に向けた検討等。



基本情報



【年齢】
26歳
【出身地】
東京都 杉並区
【転出元】
福岡県 福岡市
【前職】
なし（修士課程修了）
【活動時期】
R3.4～R6.3
（3年目）

協力隊に応募したきっかけ

大学時代、森林の炭素循環について研究を行っており、山間部でのフィールドワークに熱中していました。その中で、地方の最前線で働くことに興味を持ち、各地の取り組みを調べたり、実際に足を運ぶ中で、西粟倉村とご縁ができました。林業や森林活用やもちろん、地域全体の脱炭素やデジタルといった他分野にまたがる地方創生に関わることができる西粟倉村で、地方創生の現場を学びながら成長したいと思い、応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

地方創生推進室での業務を通じて、自分の興味関心の軸であった「森林」や「カーボン」といった分野がどのように地域づくりに影響していくのか、他の施策とどのように関わっているのか、学ぶ日々を過ごしています。今後は、森林に関する専門性をさらに高めながら、地域の最前線で幅広い分野にまたがって活動できる人材を目指したいと考えています。

活動内容

●脱炭素先行地域づくり事業事務

本事業の所管課である地方創生推進室・産業観光課の上司の下で、脱炭素先行地域づくり事業の交付金申請や進捗管理などといった事務に携わっています。自分のエネルギーに関する知識の浅さに苦労しておりますが、「2058年にエネルギー自給率100%を目指す」という村の大きなビジョンに関わることができていることをやりがいに感じています。



▲外部評価委員会の開催

●行政ポイントサービス事業の普及促進

2021年6月に開始した行政ポイントサービス「あわくらポイントサービス」の広報・普及を行っています。この事業を通じて、村が力を入れる脱炭素なまちづくりやSDGsといった施策に対して、村民の方の興味関心が高まるような仕組みを構築したいと考えています。



▲窓口でのポイント付与

●森林を様々な視点から発信する団体「ちぐさ研究室」運営

地域おこし協力隊の活動の一環として、役場での業務以外に任意団体の運営を行っています。同時期に着任した地域おこし協力隊と一緒に、森林に関するワークショップや展示拠点の運営、情報発信などを行っています。



▲村民向け講座の運営

連絡先

【メディア等の取材連絡先】

（電話番号）0868-79-2111（西粟倉村役場 総務企画課）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

（団体ホームページ）<https://sites.google.com/view/chigusalabo/>

基本情報



【年齢】
33歳
【出身地】
台湾新北市
【転出元】
福岡県福岡市
【前職】
ネット通販海外担当
【活動時期】
R3.4~R6.3

協力隊に応募したきっかけ

大学を卒業後、企業での営業職から通信販売会社の海外担当に転職約8年間、会社の収益が優先されていることに気がきました。その時自分の生きがいを考え始めました。ずっと「地方創生」に興味があり、人々のために何かできることを模索していて、そこで地域おこし協力隊という言葉に出会い、「会社ではなく、社会のために働きたい」と思い、協力隊に応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

うきは市を国際的に宣伝すると同時に、台湾文化を地元で普及させるように3年間活動してきました。例えば、イベント出店で台湾スイーツを作って、図書館に台湾コーナーを設けるなどの取り組みを行いました。卒業後も引き続き台湾と日本の架け橋として、台日の地方創生のための訪問や文化交流をコーディネートし、うきは市に台湾茶館をを設立して交流の拠点としたいと考えています。

活動内容

●国際・異文化交流

うきは市は人口の2.7万人の中で、海外出身者が1%の約350人がいます。地元民、移住者と外国人が交流できるように、うきは市と異文化交流を楽しむ「Enjoyうきは」国際交流コミュニティを設立。日本の文化を体験する年賀状作りや、田植え体験、文化財の古民家で花嫁衣装体験などを主催から集客までの運営。



●台湾との交流

- ✓市の事業者を台湾の地方町（高雄市美濃区）に台日交流出店をコーディネート
- ✓広報誌に「台湾知りたいわん！」コーナーを設け、執筆
- ✓小学校で台湾文化交流のゲストティーチャーに教育活動
- ✓台湾台南市と魅力を互いに紹介する観光交流展示会
- ✓台湾の日常写真展主催



●魅力発信@中国語で中華圏向け

InstagramとFacebookを使用して、中国語で中華圏向けに情報発信しています。祭りや行事の紹介、観光スポットの案内などをSNSを通じて広めています。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス(個人)) zuzu.go2016@gmail.com →公開して構いません
(電話番号(職場)) 0943-77-9029

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

Instagram: zuzu.go (左)
Facebook : zuzu.go.ukiha (右)

